



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月30日

上場会社名 株式会社プロシップ 上場取引所 東
 コード番号 3763 URL <http://www.proship.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 法弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営推進本部長 (氏名) 生田 厚志 TEL 03-5805-6121
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,282	27.6	391	△15.8	420	△13.2	282	△15.4
2019年3月期第2四半期	1,788	1.3	464	△0.4	484	0.2	334	0.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 288百万円 (△14.7%) 2019年3月期第2四半期 338百万円 (△6.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	18.66	18.46
2019年3月期第2四半期	22.17	21.83

(注) 当社は、2019年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,439	8,549	80.8
2019年3月期	10,208	8,753	84.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 8,430百万円 2019年3月期 8,653百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 2020年3月期の期末配当金（予想）の内訳は、普通配当35円00銭、創立50周年記念配当10円00銭となります。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	5,000	12.5	1,620	5.6	1,650	3.5	1,135	4.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー 社 （社名）除外 ー 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	15,167,600株	2019年3月期	15,139,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,009株	2019年3月期	1,900株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	15,154,335株	2019年3月期2Q	15,076,458株

(注) 当社は、2019年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式総数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が続くなど緩やかな回復基調となりました。一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の減速、金融資本市場の変動の影響など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主力とする固定資産システム分野においては、グローバル対応や、働き方改革に伴う生産性向上、ガバナンス強化等を行うため、積極的にシステム投資を実施する企業が増えております。

このような状況下で当社グループは、IFRS（国際会計基準）や、グローバルな経営管理に伴うシステム刷新の需要等を受け、売上高は増加いたしました。一方、退職金規程の改定により、2019年4月1日に退職金支給乗率を変更したことに伴い、退職給付費用が189百万円（売上原価147百万円、販売費及び一般管理費37百万円、仕掛品5百万円）増加したことから、利益は減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,282百万円（前年同期比27.6%増）、営業利益391百万円（同15.8%減）、経常利益420百万円（同13.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益282百万円（同15.4%減）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

①パッケージソリューション事業

主力の固定資産ソリューションにおきましては、IFRS（国際会計基準）対応や既存システムの刷新等から新規ユーザーの獲得及び既存ユーザーへのバージョンアップを推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,176百万円（同29.6%増）と増加した一方で、上述した退職金規程の改定による、退職給付費用の追加計上により、営業利益は375百万円（同14.3%減）となりました。

②その他事業

その他事業におきましては、主に連結子会社である株式会社プロシップフロンティアで行っており、既存顧客の受託開発や運用管理等の対応を行ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は151百万円（前年同期比1.9%増）と増加いたしましたが、上述した退職金規程の改定による、退職給付費用の追加計上により、営業利益は14百万円（同43.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債・純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は8,841百万円となり、前連結会計年度末に比べ96百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が824百万円増加したものの、売掛金が666百万円、仕掛品が67百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,597百万円となり、前連結会計年度末に比べ134百万円増加いたしました。

この結果、総資産は10,439百万円となり、前連結会計年度末に比べ230百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,471百万円となり、前連結会計年度末に比べ243百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が105百万円減少したものの、賞与引当金が84百万円増加したことや、パッケージ保守に伴う前受金の増加等により、その他が302百万円増加したことによるものであります。また固定負債は419百万円となりました。

この結果、負債合計は1,890百万円となり、前連結会計年度末に比べ435百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、8,549百万円となり、前連結会計年度末に比べ204百万円減少いたしました。

この結果、自己資本比率は80.8%（前連結会計年度末は84.8%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、5,099百万円(前年同期比18.8%増)となりました。当第2四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,523百万円(前年同期比75.1%増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は186百万円(前年同期比198.8%増)となりました。これは主に、販売用ソフトウェアの開発及び、投資有価証券の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は511百万円(前年同期比18.4%増)となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社では、前連結会計年度末時点で見込んでいる当連結会計年度の売上計上予定の案件を商談の進捗度別に集計・精査して売上高見込とし、予定している投資や過年度の費用発生の推移等から当連結会計年度の費用を見込むことで連結業績予想を作成しております。

2020年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間において、受注高は2,130百万円(前年同期比2.2%減)と減少いたしました。受注残高は4,220百万円(同19.5%増)と増加しており、堅調に推移しております。第3四半期以降も企業のIFRS(国際会計基準)対応を契機とした受注等の獲得が見込まれることから、当第2四半期連結会計期間末において当連結会計年度の売上計上予定に大きな変動はありません。

また、費用面につきましては、退職金制度の変更に伴う追加費用も含めて、ほぼ当初見込通りに推移しております。

以上のことから、2019年5月8日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,275,330	8,099,602
売掛金	1,121,791	455,579
仕掛品	299,649	231,756
貯蔵品	436	502
その他	47,660	54,007
流動資産合計	8,744,868	8,841,447
固定資産		
有形固定資産	24,077	21,412
無形固定資産		
ソフトウェア	173,958	193,755
その他	2,614	2,614
無形固定資産合計	176,573	196,370
投資その他の資産		
投資有価証券	947,759	1,064,712
その他	315,434	315,462
投資その他の資産合計	1,263,194	1,380,175
固定資産合計	1,463,844	1,597,958
資産合計	10,208,712	10,439,406
負債の部		
流動負債		
買掛金	143,694	144,193
未払法人税等	251,905	146,152
賞与引当金	61,103	145,573
役員賞与引当金	40,600	21,400
受注損失引当金	28,398	8,761
その他	702,123	1,005,112
流動負債合計	1,227,824	1,471,193
固定負債		
役員退職慰労引当金	109,200	109,200
退職給付に係る負債	118,231	309,977
固定負債合計	227,431	419,177
負債合計	1,455,255	1,890,371

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,000	474,968
資本剰余金	459,559	468,526
利益剰余金	7,717,773	7,470,819
自己株式	△1,499	△1,635
株主資本合計	8,641,833	8,412,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,029	17,648
その他の包括利益累計額合計	12,029	17,648
新株予約権	99,593	118,706
純資産合計	8,753,456	8,549,034
負債純資産合計	10,208,712	10,439,406

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,788,812	2,282,634
売上原価	859,831	1,300,706
売上総利益	928,980	981,927
販売費及び一般管理費	464,209	590,775
営業利益	464,771	391,151
営業外収益		
受取利息	10,845	12,411
受取配当金	3,115	13,108
その他	5,820	4,834
営業外収益合計	19,781	30,353
営業外費用		
為替差損	—	1,103
営業外費用合計	—	1,103
経常利益	484,552	420,402
特別利益		
新株予約権戻入益	861	1,009
移転補償金	11,021	—
特別利益合計	11,883	1,009
税金等調整前四半期純利益	496,435	421,412
法人税等	162,184	138,559
四半期純利益	334,251	282,852
親会社株主に帰属する四半期純利益	334,251	282,852

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	334,251	282,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,806	5,619
その他の包括利益合計	3,806	5,619
四半期包括利益	338,058	288,471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	338,058	288,471

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	496,435	421,412
減価償却費	59,253	53,617
賞与引当金の増減額 (△は減少)	80,454	84,470
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,650	△19,200
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,985	191,746
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△87,946	△19,637
受取利息及び受取配当金	△13,960	△25,519
為替差損益 (△は益)	△2,539	1,100
新株予約権戻入益	△861	△1,009
売上債権の増減額 (△は増加)	471,480	666,212
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△145,266	67,827
仕入債務の増減額 (△は減少)	16,169	499
前受金の増減額 (△は減少)	364,589	396,827
その他	△132,638	△80,305
小計	1,113,804	1,738,040
利息及び配当金の受取額	14,791	25,374
法人税等の支払額	△258,861	△240,410
営業活動によるキャッシュ・フロー	869,733	1,523,004
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△4,468
無形固定資産の取得による支出	△62,302	△69,206
投資有価証券の取得による支出	—	△110,033
敷金及び保証金の差入による支出	—	△2,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62,302	△186,143
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	16,860	15,960
自己株式の取得による支出	—	△135
配当金の支払額	△448,704	△527,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△431,844	△511,488
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,539	△1,100
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	378,126	824,271
現金及び現金同等物の期首残高	3,914,901	4,275,330
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,293,027	5,099,602

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は「法人税等」に含めて表示しております。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第2四半期連結累計期間の受注状況を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
パッケージ	1,204,038	△12.6	1,888,805	18.1
保守	845,827	17.5	2,264,622	21.1
受託開発	30,916	△36.4	14,370	△6.7
運用管理等	50,062	54.1	52,663	11.5
合計	2,130,845	△2.2	4,220,461	19.5

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

3. パッケージにはユーザー固有のカスタマイズを伴わないパッケージライセンスに係る受注も含んでおります。

4. 運用管理等には商品受注を含んでおります。

②販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
	売上高(千円)	前年同期比(%)
パッケージ	1,360,265	42.9
保守	816,716	12.4
受託開発	42,782	△13.8
運用管理等	62,869	3.9
合計	2,282,634	27.6

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. パッケージにはユーザー固有のカスタマイズを伴わないパッケージライセンスに係る売上も含んでおります。

3. 運用管理等には商品売上を含んでおります。